

学校名 川口市立原町小学校
所在地 川口市飯原町6-50
電話 048-252-4761

1 本校の概要

本校は、児童437名、「すべての子供の学びを保障する、笑顔あふれる原町小学校」を目指す学校像として、原町小学校でよかったと児童・教職員・保護者が誇りをもち、地域に愛される学校づくりを目指して取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書週間に係る取組
- ・ 学校司書、図書ボランティア、地域読み聞かせグループとの協働
- ・ 図書委員会活動

(2) 実践の概要

本校は、「朝読書」の時間を全学年、週3回15分設けている。1学期、2学期それぞれ1か月間で図書委員会主催の企画があり、本にふれあう機会が増えるように多様な活動を実施している。

ア 読書に親しむ態度や読書週間に係る取組

1学期の読書週間企画では、本を3冊読むと図書委員作成の葉がもらえるポイントカードを図書委員会が企画。おすすめ本の紹介は図書室廊下に掲示。

七夕の時期には、一人3冊読むと願い事を書くことができるアイスクリームの短冊を作り、図書室廊下の掲示板に掲示。七夕の時期が過ぎた後は児童に返却し、葉として児童に使用してもらった。

2学期の読書週間では、低学年3冊、高学年2冊読書をすると図書委員作成のおすすめカード作り(POP)の用紙がもらえる。本校のマスコットキャラクターのはらまっちの似顔絵に☆5つまでの評価で、おすすめ度を塗ることが出来る。その後、図書室廊下に掲示。

イ 学校司書、図書ボランティア、地域読み聞かせグループとの協働

全学年へのオリエンテーションを実施。学校図書館の意義、利用方法、NDCで本を探す力をつける

「くじびき読書」を行った。「くじびき読書」は、『〇〇の本』と探し出してほしいテーマが書かれているくじを児童にひいてもらい、そのテーマに関連

した書架サインを基に本を探し、探し出した本の情報を配布したワークシートに記入。ワークシートは、テーマ、書名、著者、図書背ラベルを記入する内容となっている。(高学年は、奥付を見て出版社も記入)出来たら、その本を決められた時間まで読書する。

図書ボランティアさんは、学校図書館季節の掲示作成、図書の修繕、新着図書の装備、牛乳パックを再利用したブックスタンド作り等、環境整備に甚大な力を発揮してくださっている。

地域の読み聞かせグループ、学校司書による読み聞かせは定期的に開催している。



ウ 図書委員会活動

年に1回の児童集会では、読書週間の企画発表の場があり全校に周知している。企画告知ポスターを作成掲示することで幅広く認知してもらうことが出来た。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

図書委員会主催の企画は図書館の活性化に繋がっており、おすすめを紹介文や短冊が掲示されるとお互いの作品を認め合う場となり、友人が紹介した本を積極的に読もうとしていた様子も見受けられた。年々、貸出冊数も飛躍的に伸びている。

図書ボランティアさんと作成した「牛乳パックスタンド」は使用済みの牛乳パックを使用して製作出来ることから、大変評判がよかった。ブックスタンドを利用し、表紙を面出しして本を配架することで子どもたちがよく手に取っていた。

(2) 課題

各教科等との連携を図り、読書センターだけに留まることなく、学習・情報センターとして機能していけるように改善を図りたい。